

教科・科目		学科・学年	単位数	教科書
国語・現代の国語		保健医療科・1年	2	精選現代の国語 (東京書籍)
科目の概要と目標		実社会に必要な国語の知識や技能を身に付け、論理的に考える力や想像する力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高めて、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。また、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		
学期	単元	学習内容		到達度目標
1 学期	自己と他者  認識を深める	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「まだ知らない自分に出会う」</li> <li>・「届く言葉」</li> <li>・評論の読み方</li> <li>・【話・聞】分かりやすい説明</li> <li>・【書】手順の整理と正確な伝達</li> <li>・「今ここにある無数の未知」</li> <li>・「不思議な拍手」</li> <li>・「水の東西」</li> <li>・【話・聞】発想の広げ方と課題発見</li> <li>・【書】新聞記事をもとにした問いの立て方と意見のまとめ方</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の体験に照らしながら評論を読み、読書や対話の持つ創造性について考えることができる。</li> <li>・対比的に書かれた評論を読み取ることができる。</li> <li>・表現に即して評論を読み、言葉やコミュニケーションに関心を持つことができる。</li> <li>・分かりやすい説明をするために必要なことを理解し、具体的な場面を設定して説明を実践することができる。</li> <li>・情報を取捨選択し、整理して正確に伝える方法を理解することができる。</li> <li>・文章の構成や展開に注意して、筆者の主張を的確に読み取ることができる。</li> <li>・事実と推論部分に注意して論の展開をつかむことができる。</li> <li>・日本と西洋の文化の比較を通じて、日本文化の特質について理解を深める。</li> <li>・思考、発想の広げ方や深め方を身につけることができる。</li> <li>・興味を持ったことについて問いを立て、問いに対する自分の意見を筋道を立ててまとめることができる。</li> </ul>
	言葉と社会  共に生きる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「言葉は世界を切り分ける」</li> <li>・「まちの豊かさとは何か」</li> <li>・「時間と自由の関係について」</li> <li>・【話・聞】本の紹介</li> <li>・【書】調べた情報をもとにした説明資料の作成</li> <li>・グラフや写真の読み取り方</li> <li>・「真の自立とは」</li> <li>・「自立と市場」</li> <li>・「共鳴し引き出される力」</li> <li>・文章を読み比べる方法</li> <li>・【書】異なる主張の文章の読み比べ</li> <li>・【話・聞】情報の整理と話し合い</li> <li>・引用の仕方</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉に関心を持って言語生活を豊かにすることができる。</li> <li>・考え方の違いについて理解を深めることができる。</li> <li>・筆者の主張を的確に読み取り、必要に応じてその内容を要約する。</li> <li>・本の良さを伝えるための手段や工夫を理解することができる。</li> <li>・評論を読み、自分の考えを持ち、視野を広げることができる。</li> <li>・比喩や具体例に注意して内容を読み取ることができる。</li> <li>・異なる主張の文章を読み比べ、考えたことを意見文として書くことができる。</li> <li>・話し合いの進め方や、その際に注意すべきことを理解することができる。</li> </ul>
3 学期	世界を広げる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「『無駄』と進化」</li> <li>・「人工知能はなぜ椅子に座れないのか」</li> <li>・「白」</li> <li>・【書】レポートの作成</li> <li>・【話・聞】探究したことの発信</li> <li>・探究学習へのアプローチ</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・事例に則して内容を正確に読み取ることができる。</li> <li>・情報に対する意識についての筆者の考えを独自の表現に注意して読み取ることができる。</li> <li>・物事を論証しながら客観的に文章を書く方法を身につけることができる。</li> <li>・さまざまな発表の形式を知り、形式に応じて発表することができる。</li> </ul>